

## 入隊予定者の護衛艦「いずも」体験航海を支援



護衛艦「いずも」に勤務する女性隊員（中央）と入隊予定者の佐々木二葉さん（左）・毛内航さん（右）（横須賀地方総監部）

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、2月15日（木）、厚木募集案内所を通じて自衛官候補生として入隊予定の2名に対して、横須賀地方総監部・横浜市磯子区新杉田間で実施された護衛艦「いずも」の体験航海を支援した。

早朝の集合に眠い目を擦っていた参加者たちは、護衛艦「いずも」を目の前にするとその大きさに驚き、眠気が吹き飛んだ様子だった。

つす暗い格納庫からアフトクシヨンさんからの航空機用昇降機で上昇すると、参加者は「映画のセットみたいでドキドキする」などと話し、甲板に到達すると青空が広がり、その景色にしばらく見入っていた。

「いずも」は、乗員総員の1割に当たる約40名の女性隊員が勤務しており、参加者は女性隊員に連れられて、搭載武器やラッパ演奏、消防隊員による放水を見学し、乗員は参加者からの質問にも丁寧に答えるなど熱心に対応していた。

この日参加した入隊予定の佐々木二葉さんは「入隊には少し不安がありました。女性のみなさんが活躍している姿を見て、私も早く一人前の自衛官として勤務したいと思いました。頑張ります！」と笑顔で感想を述べていた。

厚木募集案内所は「入隊予定者の不安が少しでも和らぐように、今後も様々な機会を通じて自衛隊の活動を伝えていきたい」としている。

## 平塚地域「入隊入校予定者激励会」を実施



笑顔をみせる列席者と入隊入校予定者ら



先輩隊員の話に聞き入る入隊入校予定者

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 三上 2陸尉）は、2月24日（土）、平塚市教育会館において平塚自衛官募集相談員会（会長 大貝 憲三氏）主催の「平塚地域自衛隊入隊・入校予定者激励会」を支援した。

当日は、平塚地域事務所を通じて入隊・入校予定の高校生や社会人約30名とその家族が招待され、担当地域の市長や副市長、学校関係者や自衛隊協力会、また神奈川地本長、横須賀教育隊司令、第4施設群長らが列席し、祝辞を述べるなど入隊入校予定者らを激励した。

その後、第4施設群ラッパ隊は、激励演奏で会場を盛り上げ、昨年平塚地域事務所を通じて防衛大学校に入校した高橋学生は、後輩となる入隊入校予定者らの不安を払拭できればと自衛隊生活での体験談を分かりやすく披露し、入隊入校予定者とその家族は真剣に耳を傾けていた。

最後に入隊入校予定者を代表して、防衛大学校入校予定の古谷 淳さんは「地域をあげてのお祝いと励ましに感謝するとともに、熱い期待に応えられる立派な自衛官になれるよう努力したい」と力強く述べた。

平塚地域事務所は「今後も募集相談員会と連携し、任務達成に邁進していく」としている。

## 「神奈川自衛隊音楽まつり2018」を支援 ～入隊・入校予定者を激励～



出演者が一堂に会したフィナーレの様子

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野太資 1等海佐）は、2月25日（日）、よこすか芸術劇場（横須賀市）において開催された「神奈川自衛隊音楽まつり2018」を支援した。

本イベントは、同地本支援団体協議会が主催し、入隊・入校予定者の激励と、音楽演奏を通じて自衛隊に対する親近感及び関心の増進を図ることを目的に毎年開催され、今年は約1,500人が来場した。

第1部は、入隊・入校予定者が紹介され、代表して幹部候補生学校に入隊予定の松村 竜貴さんが激励への返礼と自衛官になる意気込みを述べると、会場からは温かい拍手が起った。

第2部は、隊友会本部畑中執行役の津軽三味線の演奏に始まり、高工校和太鼓部、神奈川県立逗子高等学校吹奏楽部、米海軍第7艦隊軍楽隊、海自横須賀音楽隊の演奏と続き、横須賀音楽隊のポール中川、麻梨子3等海曹は、中島みゆきの「糸」をしつとりと歌い上げ、行進曲としてお馴染みの「軍艦」の演奏では、会場から手拍子が起った。フィナーレでは、卒業式などでも歌われている「ピリッ」を出演者と来場者が一体となって合唱し、会場は大いに盛り上がった。

閉幕後、来場者は「素晴らしい演奏でした」「若者たちの晴れやかな姿を観て、元気をもらいました」などと感想を話していた。

神奈川地方協力本部は「今後も各種イベントを通じて、自衛隊に対する理解の促進に努めていく」としている。